

## 2023年度 ニチキッズ北上むらさきの保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月27日（火）
	実施方法	職員会議によって課題に対しての改善策が実施されたか、また効果について話し合った。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り子どもたちがわくわくするような保育を目指してきた。また地域資源を活用する事で保育園だけでは体験できない事にも興味、関心を広げていく事ができた。
子どもの発達援助	職員会議や園内研修の中で子ども一人一人の発達や姿を全職員で共有し、関わり方を話しあい、保育を行ってきた。また巡回指導、療育センターとの連携、小学校との連携により継続した発達援助ができるよう努めた。
保護者に対する支援	日頃の保育や行事の様子を動画で配信し、子どもたちの笑顔や成長を共有できるようにした。クラスだより、食育だより、保健だよりで育児についてのアドバイスを記載する事で不安や悩みの解消につながるよう努めた。
保育を支える組織的基盤	他園で起きた不適切保育や事故をテーマに園内研修を行い原因、改善策を検討した。栄養士による食育、栄養指導、看護師による保健指導の年間計画を立て保育士と協力し、楽しみながら子どもたちの学びとなるようすすめてきた。

総評
新型コロナウイルスが5類に移行した事により、行事の参加人数の制限をなくし、また地域との交流が始められるようにした。特に北上市生涯学習まちづくり「出前講座」を利用しピアノ、オーボエ、ヴァイオリンの演奏を間近で聞き、クリスマスソングを子どもたちも一緒に演奏した経験は貴重であった。また、3～5歳児はSTEAM教育を通して主体的に発見、工夫し誰かの為に思いを込めて行動したり、表現する力が育まれた。今後も職員一人一人が自己研鑽に励み、子どもたちの健やかな成長の為に保育の質を上げ、保護者様に満足して頂ける保育園を目指していきたい。